

2020年11月26日

T&Dフィナンシャル生命保険株式会社
国際金融公社
株式会社大和証券グループ本社

各 位

国際金融公社のソーシャルボンドの発行、引き受けならびに投資について

T&D保険グループのT&Dフィナンシャル生命保険株式会社（社長：板坂 雅文、以下「T&Dフィナンシャル生命」）は、国際金融公社（International Finance Corporation、以下「IFC」）が発行するソーシャルボンド（以下「当債券」）へ投資しましたのでお知らせいたします。当債券の主幹事には大和証券グループ本社傘下の大和証券キャピタル・マーケットズヨーロッパリミテッドが指名されました。

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興国における民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。

2020年3月、IFCは新型コロナウイルスの拡大による景気低迷の影響を受ける開発途上国の民間企業を支援するために、80億米ドルの資金支援枠を設定しており、10月末までに累計約40億米ドルの支援を実行、また実行をコミットしています。

当債券の発行を通じてIFCが調達した資金は、新型コロナウイルスの影響を受けた国を含む開発途上国において、必要なサービスを受けられない人々を受益者とするプロジェクト、例えばインフラや金融などの重要なサービスへアクセスすることが難しい女性や低所得コミュニティに利益をもたらすプロジェクトなどに充てられます。



（出典：IFC）

<投資概要>

発行体：国際金融公社（ムーディーズ格付：Aaa、S&P格付：AAA）

投資額：5千万豪ドル（約38億円）

償還期間：約14.5年

T&Dフィナンシャル生命は、「T&D保険グループCSR憲章」に基づき、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献する取り組みを進めてまいりました。

引き続き、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」を通じて、持続可能な社会の形成に一層貢献できるよう、努めてまいります。

IFCは、世界100カ国以上で資金、専門知識そして影響力を駆使することで、途上国において市場と機会を創出するための支援を行っています。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有を促進するべく民間資金を最大限活用し、2020年度は途上国の民間企業と金融機関に対し220億ドルの投融資を行いました。詳細は www.ifc.org をご覧ください。

大和証券グループは、過去10年以上にわたり、社会課題の解決に資する金融商品の開発と提供に尽力してまいりました。大和証券グループは、SDGsの期限である2030年に向けて、今後さらなる施策の推進に努め、引き続き持続可能な社会の創造に向けて貢献してまいります。

以 上

【お問合せ先】

T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	TEL 03-6745-6808
国際金融公社東京事務所	財務部	TEL 03-3597-6657
株式会社大和証券グループ本社	広報部	TEL 03-5555-1165